

会議録

会議の名称	令和８年度第８回西東京市立保谷第一小学校建替協議会
開催日時	令和８年６月２５日(木曜日)午後５時３０分から
開催場所	田無庁舎 ３階庁議室
出席者	【委員】 原会長、高橋副会長、萩原委員、吉村委員、中野委員、阿部委員、 笹森委員、牛村委員、倉内委員、藤江委員 （欠席）服部委員、伊藤委員 【事務局】 飯島副参与兼教育企画課長、鈴木教育企画課企画調整係長 記内教育企画課企画調整係主事、木藤教育企画課企画調整係主事 佐藤公共施設マネジメント課長、陸名公共施設マネジメント課長補佐 造賀公共施設マネジメント課マネジメント係主事 【傍聴人】 ０人
議題	議題１ 委員の依頼 議題２ 教育長あいさつ 議題３ これまでの建替協議会での検討について 議題４ 令和８年度建替協議会検討スケジュールについて 議題５ 保谷第一小学校に複合化する施設について 議題６ 新校舎の規模・敷地内配置について 議題７ その他
会議資料の名称	資料１ 西東京市立保谷第一小学校建替協議会委員名簿 資料２ これまでの建替協議会での検討について 資料３ 令和８年度建替協議会検討スケジュールについて 資料４ 青嵐中学校エリアにおける公共施設再編の基本的な考え方（素案） 資料５ 保谷第一小学校施設配置比較表
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
＜開会＞ 議題１ 委員の依頼 教育長から今年度より新たに委員となった方へ依頼状を交付。 議題２ 教育長あいさつ 議題３ これまでの建替協議会での検討について ○事務局 （資料２について説明） 議題４ 令和８年度建替協議会検討スケジュールについて ○事務局	

(資料3について説明)

○会長

事務局より説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。

第9、10回で平面計画案について検討するとしているが、具体的にどのような内容なのか。

○事務局

教室や体育館の具体的な位置関係について、教室は何階に配置するのか、体育館はどの位置か等を示していくことを想定している。この示した案について、委員の皆様からご意見等を伺いたいと考えている。

議題5 保谷第一小学校に複合化する施設について

○事務局

(資料4について説明)

○委員

学校の駐車場について、地域利用者用の駐車場は設けていくが、学校利用者用については設けず、これまでどおり貸出しはしないとの認識でいるのか。

○事務局

地域利用者用の駐車場についても確保していく想定でいる。外構部分の検討の中で精査していく。

○会長

複合化することにより、どのような影響が出るのか。

○事務局

多世代の人達が訪れること、また来る人も増加することから、セキュリティ面に十分考慮する必要があると考えている。

○会長

校庭を含めた施設の面積の増減等の影響は具体的にどう出るのか。

○事務局

校庭の有効面積等については、次回以降にお示しする。専門的な視点を入れて平面計画を作成し、検証も進めていく。

○副会長

地域包括支援センターについて、地域の拠点となる学校の中にできるのは良いと考える。

下保谷児童センターについて、築年数等を含めて活用可能なため、現状の場所での運用なのか、今後の検討事項なのか。

また、大きな幹線道路である伏見通りを境として、公共施設が道路より西側に偏って

いると思っている。今回、保谷第一小学校に複合化するとさらに西側に偏ってしまうと考えられるが、市で検討されてきたのか。

○事務局

下保谷児童センターについては、引き続き現在地で運営していく考えである。一方で、下保谷学童クラブについては、法定耐用年数は残っているものの、建替え時には小学校の中に配置していく方針である。ご指摘のとおり、公共施設の配置は、西側に偏っている部分はあると考えているが、今後の公共施設の配置の考え方として、中学校通学区域内で考えていくことが大前提となっているため、この区域内で適正に配置する考え方である。今回の保谷第一小学校の通学区域内では、市民交流施設（集会所）がないため、補っていくために貸館機能を導入していく考えである。

○委員

将来的に青嵐中学校が建替えるときに今回小学校に入れる公共施設等は、移設するのか、基本的な考え方があれば教えてほしい。

○事務局

計画上、青嵐中学校を将来的なエリアの核施設として想定しており、建替えが 40 年以上先であることを見据え、先行して建替えを迎える保谷第一小学校において行政サービス機能の充実の早期の実現を図ることを基本的な考えとしている。

議題 6 新校舎の規模・敷地内配置について

○事務局

（資料 5 について説明）

○委員

資料 5 の体育館の使用制限なしの意味が分からないため教えていただきたい。また、以前に体育館を 2 階にする可能性があるとの話があったが今の時点ではどのように考えているのか教えていただきたい。

○事務局

資料 5 の図にある体育館の使用制限なしとは、体育館が使えなくなる時期がないという意味である。体育館が 2 階になる可能性については、災害時の対応や避難所の運営を考えると 1 階の方が良いと考えるが、他の諸室配置との兼ね合い等があるため、具体的な配置については、現在精査中のため、次回会議以降にお示しする。

○委員

避難所となったときは体育館だけでなく、校舎も使う想定であり、また保谷第一小学校は医療救護所となっている。もし工事期間中に有事があった場合は避難所としての機能が果たせなくなると思うが、どう考えているか詳しく教えていただきたい。

○事務局

学校施設については、教育を行う場だけでなく、地域コミュニティの場であり、避難所の機能も重要となってくる。現在、考え方等も含めて精査しており、次回以降お示し

させていただく。

○委員

建替えにより校舎が南側に建つことが想定されるが、南側は住宅がかなり密集している。そういう方々への説明会等は並行して進めているのか。校舎が近づいてくるとなれば子どもたちの声が今まで以上のものになると思われるが、今のところ反対意見等は起こっているのか。

○事務局

地域の方々への説明については今後丁寧に行っていく。現在、ご意見等はいただいているが、建替後は4階建てを想定しており、校舎が南側に建つことが想定される中、距離が近すぎることによる圧迫感や高さによる圧迫感も感じると考えているため、敷地境界からどれだけ離せるか等を丁寧に検討していく。

○委員

住民一人が反対すると工事自体が進まないというような事例も過去にはたくさんあったと思うので、少し心配している。

○事務局

委員の指摘どおり、市民の意見はしっかりと聞いていく必要があると考えている。今回の建替協議会で初めて配置の比較表をお示ししているため、まずは委員の皆様からご意見を頂戴したいと考えている。その後、市民へは説明させていただければと考えている。また、保谷第一小学校の児童や先生にアンケートを取る等の作業を進めていく予定である。

○委員

保谷第一小学校は、親子給食方式であり、保谷第一小学校で給食を作っている。青嵐中学校の分も含め約 1100 食作っているとのことで、結構においがしたりすると思うので、給食施設をどこに配備をするかもしっかり検討していただきたいと考える。

○副会長

資料5について、2案の新校舎に児童が入れるタイミングはいつからなのか、また、右案の蜂の巣校舎は、学童クラブとして使うことを想定しているのか。

○事務局

新校舎の供用開始時期については、左案が2.5年後、右案は2年後としている。蜂の巣校舎の使い方に関しては、現在精査中の段階ではあるが、学校運営に支障がない範囲での使用を考えている。④新校舎（複合部分）の中にも教室や職員室等が入ってくる可能性があるので、④新校舎（複合部分）ができるまで、そのような教室等を一時的に蜂の巣校舎に置いておくという考え方もある。詳細は次回以降の会議で説明させていただく。

○副会長

右案の方が早く子どもたちが新校舎で学べるように感じたので、確認させていただいた。

トラックの形が左右の案でだいぶ違うような印象を受けた。サッカーコートや 100m 走をするときのスタートとゴールを考えたときに右案の方がいいように感じるが、近隣の方々のお住まいに近づく部分が多くなるため、そうした部分を含め今後も検討していかなければならないと考える。

○委員

先日、北区の小学校で火災があったと思うが、実際に保谷第一小学校で起きた場合どこに避難するのか等まで考えているのか教えていただきたい。

○事務局

避難経路の確保等、今回の件を教訓にし、動線等について検討していかなければならないと考えている。

○委員

左案は、工事期間中に逃げ場がないように見える。

○事務局

いただいた意見を踏まえ検討していく。

○委員

右案は、蜂の巣校舎の活用を前提として計画が立てられているが、蜂の巣校舎ではない部分を活用するという選択肢があつての蜂の巣校舎の活用なのか、あるいは工事期間中に蜂の巣校舎しか活用できない事情があるのか教えていただきたい。

○事務局

蜂の巣校舎の活用を検討した理由としては、校庭の広さの確保である。校庭をより有効活用していきたいと考えた時の一つの案として蜂の巣校舎が出てきた。現在、委託業者において他のパターンについても検討を進めており、蜂の巣校舎以外の活用が実現可能なのかを含めて今後お示しできればと考えている。

○委員

蜂の巣校舎を残すことにより西側の面が校舎として全く使えなくなるため、東側に飛び出ている特別教室棟などを活用するやり方もあるのではないかと考える。

○会長

長いスパンでみれば、1 年の差はそこまでではないと思うが、在籍している児童や保護者からすると新校舎の整備が 4 年なのか 5 年なのかで大きい違いがあると思う。次第 4 のスケジュールで示された子ども・教職員のアンケートでは、そのあたりのことについても聞くのか。また、複合施設との兼ね合いの観点で考えたときに校舎の配置や形状等で左右どちらの案が望ましいか考えはあるのか。

○事務局

工事期間は1年でも短い方が良く考えているため、今後のアンケートで工事期間等についても聞いていきたいと考えている。

○事務局

複合施設を入れるにあたり、現時点の2案に対しては、どちらがふさわしいというところにまでは至っていない。今後ほかの案が出てくることも想定しているが、教育環境が第一である中で、地域の皆様が使えることやセキュリティ面、避難経路等を踏まえて、校舎の配置や形状等は確定していくものと認識している。

○副会長

今後新しい案が出てくることに期待しているが、先程委員から意見があった西側の校舎が伸びる案があってもいいのではないかと考える。左右両案とも伏見通りから消防車等の大型車両が入れる入口がないように見受けられるため、校舎の形を少し変えたと大型車両が通れるようになると考える。また、非常時のことを考えると、2か所から大型車両対応可能になる方が良く考える。現状の2案だと、北側は大型車両が通れるような道ではないため、西側のアプローチになるのが気になっていた。いろんな案を見せていただければと考えている。

○委員

子どもたちがみんな大好きな遊具ぴよんちゃんはどうなるのか。

○事務局

これまでもお伺いしている。検討中である。

○委員

最近この遊具で子どもが骨折する事故があったため、使用中止となっている。保護者からは、何十年も前の固い素材でできているため、この際柔らかい素材やケガしにくいバージョンのぴよんちゃんにリニューアルするのはどうかという声も出ている。

現在使えない状態になっているし、再開させたとしても、子どもたちが使っているとヒヤヒヤする。この機会に何十年も前の昭和の遊具は一層取っ払って、新しい令和の遊具にしてもらいたいというのが、一保護者としての意見である。

○事務局

これからアンケートを取る中で、子どもや保護者、先生方から意見を伺う中で検討していく。

○会長

怪我した子がいたために現在は使用中止だが、地域の方の愛着はすごく象徴のようなものである。経年劣化で滑りやすくなっているため、安全に使えるような状態にするよう要望は出している。

○委員

蜂の巣校舎を作った際に西側の正門にあったぴよんちゃんを今現在ある東側に引っ越

しをしたと伺っている。昭和 30 年代から現在まで脈々と受け継がれてきている学校のシンボルであると考える。

○副会長

周年の記念誌の寄稿文にぴよんちゃんのことを書いた。ぴよんちゃんは現代にマッチした形で残していただければ個人的にはうれしい。ただ、安全面も考えなければいけない。いろんな方の意見や思いもあると思うので、いい形を追求していただければと考える。

議題 7 その他

○事務局

次の会議は 7 月の開催を予定している。詳細については後日連絡する。

また、議事録についても、後日メールで送付させていただき、委員確認後に次回会議にて了承を得る予定である。

<閉会>